

シルバー さんむ

第17号 平成29年 9月

公益社団法人
山武市シルバー人材センター
〒289-1523山武市松尾町五反田3012
☎0479-86-6616 Fax0479-80-8280
ホームページ <http://sjc.ne.jp/sambu/>
E-mail sammu@sjc.ne.jp



女性部会主催 ～日帰り旅行～

5月9日、ネモフィラが咲き誇る『国営ひたち海浜公園』、4年前に廃校になった小学校跡地にできた『なめがたファーマーズヴィレッジ』を見学しました。
日帰りの短い時間でしたが交流が深められ、楽しい旅となりました。

平成二十九年定時総会開催

六月十七日(土)午後一時から、成東文化会館のぎくプラザにて、定時総会が開催されました。

来賓の椎名千収市長、能勢秋吉市議会副議長、並びに当センターの賛助会員である松下浩明県会議員からご祝辞を頂き、同じく賛助会員の今関恒市議会議員、長谷部竜作市議会議員、担当部署の川島勝喜保健福祉部長に出席頂きました。

総会の議長には、高木壽会員が選任され、定数(会員数三九七名、出席会員三三一名、うち議決権行使書・委任状提出者一六〇名)を確認、定数である過半数の出席が確認され、総会の成立を宣言し、議事録署名人に川島房枝・関口憲一会員を選出し、報告事項及び決議事項が審議されました。

【報告事項】

- ・平成二十八年度収支補正予算
 - ・平成二十八年度事業報告
 - ・平成二十九年度事業計画
 - ・平成二十九年度収支予算
- 【決議事項】原案通り可決承認
- ・第一号議案 監査報告並びに平成二十八年度貸借対照表、損益計算書及び財産目録の件
 - ・第二号議案 定款一部変更の件



会長あいさつ



会長 河野 大治

本日は多くの会員の皆様に出席をいただき総会を開催することができました。誠にありがとうございます。日ごろはそれぞれの仕事場において誠実に業務を遂行されていることにつき重ねて厚く御礼申し上げます。おかげさまで昨年度は前年比金額にして約二百萬の増、割合にして十三・三%の増加となりました。これもひとえに会員の皆様方が真摯に仕事に対して取り組んだ成果だと確信いたしました。少子高齢化による現役労働力の不足、また社会経済の変化等の要因はあるにせよ、これ

だけの伸びは会員一人ひとりがシルバーの基本理念に基づきしっかりと業務に従事していったからこそ得られた成果だと確信しております。こんな言葉があります。

置かれた場所で咲きなさい。それがほんとの花なのです。

今まさに四百に近い花が地域社会に認知されしっかりと根を生やして咲いています。これからも身の丈に合った花を地域社会にさらに必要とされるよう咲かせ続けていきたいと思っております。

ご来賓の皆様、本日は公私ともご多用の中なにご出席をいただきまして誠にありがとうございます。昭和三十八年に施行された老人福祉法によれば、福祉の受け手となって当然の方々です。しかし、まだ頑張れる、社会の担い手となつて役に立たせていただきたいという方々です。折に触れての激励や励ましの言葉等々をいただければ幸いです。また寄り添っていただくことを切にお願い申し上げます。

さて皆様、昨年の六月に、「日本一億総活躍社会、生涯現役」が閣議決定されました。その中に「シルバー人材センターの力を必要とする、活用する」との文言がなんと複数回出てきます。ますます元気な高齢者の力が必要とされます。健康には十分に注意をして存在感のある地域社会の一員であり続けていくにはあります。当センターも今年度から第二次中期計画を策定いたしました。働くだけではない。居場所づくり仲間づくりの輪をさらに広げ、充実する各種の事業を展開して参りますので、参

加ご協力のほどお願い申し上げます。皆様、この言葉をご存知ですよね。

「確認は 安全作業の まず一歩」

皆様が今手にしている議案書の最後に載っています。これは当センターの会員が標語のコンクールに応募し入選した標語であり、当センターの安全標語です。

先ほど申し上げましたように、業績は伸びました。素晴らしいことです。しかし残念ながら事故が七件ほどございました。事前に確認、さらなる注意をしていればあるいは防げたかもしれないと思われるような案件が数件ございます。

「自主・自立」「共働・共助」のもと、お互いに充分注意をしいながら事故を未然に防ぎ、当センターのさらなる発展に互いに努力を重ねていきたいと思います。

表彰 く役員功労者・十年在籍会員く

今年度の総会より、表彰規程に基づき感謝状及び表彰状の授与をおこないました。おめでとうございます。

感謝状

○役員功労者 小川 憲治

表彰状(十年在籍会員)

○成東地区

荒 泰子 樋口 勝利 武田 多美江

布施 孝 金田 弘之

○山武地区

長谷川 肇

○松尾地区

竹内 光興 飯塚 美昭 北田 秀子



シルバー人材センター 法制化三十周年記念表彰を

小川憲治さんが受賞



受賞された皆さん

六月二十二日に行われた定時総会にてシルバー人材センター法制化三十周年記念表彰式が行われ小川前会長が全国シルバー人材センター事業協会長より表彰されました。永年にわたり役員として事業運営に携わり、独自事業を立ち上げ、積極的に活動するなどセンターの発展に貢献したことが認められ、栄えある受賞となりました。(上段左側が小川さん)

役員活動報告

事務局

○入会説明会に参加 今年度より、毎月開催される入会説明会に、役員が交代で出席をし、入会の普及促進活動を行っております。話の内容は、自分が実際に就業して思ったこと、感じたこと、また、シルバー事業活動の体験談などを、入会を考えている参加者の方と同じ会員としての目線で話をして頂きました。(七月担当 三岡理事)



三岡理事

○認知症サポーター研修会 七月二十一日理事会終了後、高齢者福祉課より講師を招き、「認知症サポーター研修会」を開催しました。

認知症は誰にでも起こりうる病気で、認知症に対して正しく理解し、偏見をもたず、また、認知症の人や家族に対し温かい目で見守ることを勉強し、これからの事業運営に役立っていきたいと思います。



適正就業ガイドライン研修

事務局



定時総会後、NRI 社会情報システム(株) 兼永敏博氏を講師に招き、研修会を開催しました。

シルバーの仕事は受注した内容により、「契約が「請負」「委任」「派遣」に分かれます。それぞれ契約の違

いを、発注者や会員が留意すべき事項を、厚生労働省の作成した「ガイドライン」に基づき説明しました。

更新説明会でも説明をした内容でしたが、より詳しいお話を聞き、改めて法令を遵守して適正な事業運営をしていく必要があると感じました。

また、安全就業の話で、①人には「見落とし」「錯覚」「記憶違い」「物忘れ」がある。

いくら安全教育を行ってもゼロにすることはできない。でも、安全教育によりゼロに近づけることはできる。

②人間には、ミスや見落としといったヒューマンエラーがつきもの。大切なことは「基本に忠実」に「手抜き」を行わないこと。

忙しい毎日が駆け足で過ぎてしまいますがこの安全就業の印象的な話をふと思ひ出して足を止めることを心掛けましょう。

じゃがいも収穫しました!

「いきいきクラブ」

事務局 宮負

六月三〇日、じゃがいも植えから四か月、今年も楽しく収穫することができました。トラクターで畝入れをしたあと、一斉に柔らかくなった土の中からじゃがいもを掘り出しました。



今年、男爵、メークイン、トヨシロの三種類。雨が少なく暑い日が続いたため、収穫量が心配でしたが、全体的に小ぶりではありましたが全部でコンテナ四一個となり、会員も一安心しました。

収穫後は早く完売することが目標となりますが、この時期はイベントが少ないため販売に苦労するところです。そこで、販売先を探すことと、予想した販売数を見極めての袋詰めが大切な仕事となります。

今年、市役所や保育園などの皆様にもご協力をいただきました。この広報が出る頃には完売していることと思ひます。

いきいきクラブの皆さん、暑い中の作業お疲れさまでした。



すみれサークルの活動

事務局 高林



六月の総会に手芸品を販売しました。その日はちょうど子供たちの集まりがあり、ゴム付のお手玉が人気でした。サークルのぼり旗も初お目見え。すみれ色でとってもすてきな旗ですよ。現在、十月の健康福祉まつりの販売用にニット帽子を製作中です。また、同月に開催される「きらきらシルバーフェア」への来場者プレゼントとしてタオルわんちゃんも一つずつ心を込めて作っています。

手作りなので表情がそれぞれみんな違っかわいい!お楽しみに。

第二・第四月曜日の九時から山武福祉センターで活動してありますので興味のある方は一緒に活動しましょう。お待ちしております。



午前中に旭市を出たタスキは山武市の市民ランナーに引き

ゆき)さんが参加しました。

子(の)廣瀬隆喜(たか

チャ(選)手(お)よ(び)車(椅

有(森)裕(子)さん(と)ボッ

市(武)では(ゲ)スト(ラン)ナ

ー(と)して(マ)ラ(ソン)の

ナ(ー)が(ふ)れ(合)い(なが

キ(と)も(に)市(民)ラン

「(ふ)れ(あ)い(ラン)ニン

国(技)館(を)目(指)し(ます)。

茨(城)、千(葉)を(中)継(して)八(月)九(日)に(東)京(両)国

日(に)青(森)を(ス)タ(ー)ト(して)、岩(手)、宮(城)、福(島

青(森)から(東)京(ま)での(被)災(地)を(自)転(車)と(ラン)ニ

ン(グ)で(タ)スキ(を)つ(な)ぐ(リ)レ(ー)で(す)。七(月)二(四



1000km縦断リレー
「ふれあいランニング」に参加
広報委員 小島邦男

このたび七月、諸処の事情により生まれ故郷の横浜に転居することとなり山武市シルバ

ー人材センターを退会することとなりました。

元会員 樋口 勝利

このあとタスキは自転車ランナーに引き継がれ、参加者大勢の市民に見送られて、次の中継地の「九十九里海の駅」を目指しました。



途中、バテそうな小さい子



継がれ、「ふれあいランニング」がスタート。

シルバー人材センターからは、河野会長、事務局の秋庭さん、土屋さん、川畑さん、高林さんが、主催者から提供された揃いのウェアとキャップを身に付け、蓮沼海浜公園内の一、三キロのコー

思い出はたくさんありますが、胸の中にいっぱい詰め込んでおきます。当センターに入会して良かったなと思うことは、親しい友人を得たこと、良き皆さんにお会いできたことです。お世話になりました。



星久木元会長と樋口さん(右)

平成十八年七月に入会してから十年間、事務局の方々はじめ多くの会員の方々にお世話になり、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。六十八歳で現役(事務畑のサラリーマン)を引退し、成東町井之内に転居して参りました。当センターも三町一村の合併のさなかでした。事務畑の仕事でしたので、草取りとか力仕事は大変でしたが、諸先輩の指導の下、難なく過ごすことができました。

当地の地理、歴史、風物等には疎かったのですが、職員、会員、発注先の皆様と仕事を通じて様々な情報、知識を得ることができました。十年の会員生活で九年間長続きしました。十年の会員生活で九年間長続きしました。十年の会員生活で九年間長続きしました。十年の会員生活で九年間長続きしました。

平成二十四年六月に理事に就任し、星久木、小川両会長の下、副会長を四年間務めさせて貰いました。二十四年は公益社団法人に移行した年でもあり、本所一括方式や所在地の変更等、様々な試練がありました。役員・職員が一丸となりスムーズな組織運営へとつながることができました。

女性部会主催

日帰り旅行に参加して

広報委員 川島房枝

五月九日、ひたち海浜公園と那珂湊へ行って参りました。参加者は四十二名でした。

前日は夏日の天気でしたが、当日は曇りで風もなくちょうど良い行楽日和でした。ゴールデンウィークも終わり観光客で混雑することも無いと思っておりましたが、海浜公園の広い駐車場はいっぱいでした。

中央ゲートを抜け、ガーデンエリアに行き、遅咲きの赤・白・黄・紫・黒・ピンクのチューリップを見て、パーベキュー広場に向かいました。ここには藤棚がありまして紫とピンクの藤を背景にみんなとパチリ一枚。さて、次はひたち海浜公園の看板であるネモフィラが群生しております「みはらしの丘」を目指します。遠くからでも青い小高い丘が私たちに誘っています。この丘に登れるかしらと思いましたが、皆さん元気で手をつないで一緒に頂上まで行きました。そこからは鹿島灘が一望でき感激です。帰りは歩くのに疲れて、園内を一周しているシーサードトレインに乗って中央ゲートまで。

昼食是那珂湊のお魚屋さんで二階で頂き、食後は一階のお店でいろいろ面白い物をして観光バスのトランクはいっぱいです。バスの運転手さんいわく、「千葉の人はどこへ行ってもお土産を買って帰ります。その中でも山武の人たちは買いつぶりが良いです。」温暖な気候風土のせいでしょうか？それとも高齢になっても働ける場所があるためでしょうか？シルバー人材センターに感謝です。

最後は、四年前に廃校になった山間の小高い丘にある小学校の跡地を利用した「なめがたファーマーズヴィレッジ」に着きました。

行方市特産のさつまいもについて楽しく学びました。こんな深い山奥に立派な小学校があったのには驚きです。買い取った会社がさつまいもをいろいろな工程を経てやさしいものしたり、それをペースト状にして様々なものを作り上げていく一連の工程を見学できる施設でした。工場を出たところで、やさしいもののお土産を頂きました。とても甘いお芋でした。帰りはもう薄暗くなっておりましたが、みなさん元気な笑顔を見せていただき、明日も元気で働くぞと思えました。一年ごとにお友達が増えてうれしいです。



就業の様子

帝石削井工業(株)

成東整備センター寮

事務局 秋庭

寮生の方への食事(朝食・昼食・夕食)の用意や施設の清掃作業等を会員が行っています。現在五名が交替で就業しています。



取材日の夕食当番は大橋さん
メニューは
魚のソテーにお手製トマトソース添えです！

長が生きのコツ

仲村 敏雄

一、バカの壁
人間の壁
社会の壁
ガラスの天井
を打ち破ること

二、明るいことだけを話題にすること

三、馬鹿になったふりをして

災難から身を守ることに

第四回 私の趣味 紹介シリーズ

『みんなの笑顔が好き』

渡邊 いずみ



私は、五十四歳まで会社員として働いてきました。両親の介護のため会社員を辞め、まず介護ヘルパー二級の資格を三ヶ月かけて取りました。父

親の介護も終わりを告げた途端、前から左足が痛くて引きずって歩いていたのが歩けなくなりました。とある整形外科に通いましたが痛みが取れませんでした。病名は「変形性股関節症」でした。人工股関節を入れる手術です。まだ母親の介護がこの先あるため三年後に右足の手術もしました。それにより私は身体障害者三級になりましたが手術をして痛みも取れ、日常生活には制限がありませんが元氣になり、もっと早く手術をすれば良かったと思います。



しかし、残念な事に私の一番の趣味は山登りでした。夏になるとソワソワし始め富士山はもとより、北岳、白馬岳、涸沢岳、西穂高岳、木曾駒ヶ岳、仙丈ヶ岳等々三千メートル級の峰々を歩いて満足していました。まだまだ行ってない山もたくさんあり悔しい気持ちで一杯ですが、まだ登る勇氣がなく低山のハイキングや公園散策程度です。「こんにちは」の一期一会の登山者同士の挨拶、「いつかはまた、あの峰へ」との想いで蓮沼のスポーツジムに週二・三回行って筋肉を鍛えているつもりです。(笑)

そして、四年前に母親を見送った後、激しい運動ができないため、元々本も好きだったので朗読教室に本腰を入れ始めました。朗読は口を大きく開け、滑舌よく、声を出し、人前で聞いてもらう。一人っ子で引込み思案だった私が内面的に大きく変わったことでした。それと同じくして、私にもできる仕事があればと思いいシルバー人材センターの会員登録をしました。限定されているのであまり役に立っていないでしょうが…。

更に「広報さんむ」に載っていたボランティア募集の「茶処 遊楽亭」の記事でした。介護予防として元氣な高齢者を集めて一日楽しく遊んでもらうの趣旨を聞いたとき「自分自身が喜んでる顔を見るのが好きだからこのボランティアをやるう」と決めました。ヘルパーの資格も遊楽亭で役立っている気がします。そこに集まってくる人達は六十五歳以上から九十歳くらいで元氣な人の交流の場です。そこで私は短い朗読を混ぜながらの歳時記、うんちくを楽しんで聞いてもらっています。他にも催し物が盛りだくさんです。遊楽亭に来ると「皆が優しい」「面白かった」「楽しい」「また来月も来たい」の声を支えに笑顔で帰ってもらえるように心がけています。興味のある方は一度見学に来て頂ければ幸いです。

また最近では、昨年のシルバーの総会後の「笑いヨガ」の講習を受けて「これは面白い、元氣になれる」と思いました。家に帰りすぐ覚えた笑いヨガのポーズを書き留め、これは使える！やる氣満々でした。それから笑いヨガにはまりました。初めは恥ずかしい、声も大きく出せない、でも続けてやっていると本当に笑ってしまいますよ。

ホッホッ ハハハ(三回) イエイイ
いいぞ いいぞ イエイイ

体操にもなっているので体がスッキリします。人間の脳は作り笑いでも笑っていると判断するので、体にとても良いそうです。「健康寿命」という言葉を聞きますが、心も体もいつまでも元氣で、人の世話にならずにいたいと誰もが思っていることではないでしょうか。それには笑顔、笑いましょ。



私の元氣の素は、人のためにやっているボランティアが実は自分のためにもなっていることでした。「生き生きしてるね」と言われる時もありうれしい限りです。これからも様々な場所でのみんなを笑顔にできたらいいぞ いいぞ イエイイ」と心の中で自分を少し褒めたいと思います。

文芸

短歌

梅雨明けに 田の面を飛ぶ 土屋 敦保
必死に親の後を 追ひ行く

朝早く 桜を覗つつ 空見れば
浅間にかかる 虹の七色

うぐいすは いずこで学ぶや 名調子
姿見えねど 初音をききぬ

俳句
閑口 宙海

夏草や 踏まれし想い 此処にあり
蝉時雨れ 朽ち果てそうな 社かな
母徳び 宴会となる 新盆会



成東地区 5月16日
しらはたこども園

皆さん暑い中お疲れ様
でした。

今年も、シルバー事業の普及宣伝活動・社会への貢献活動の一環として、各地区で植木の剪定、草刈りや草取りなどの清掃作業を行いました。しらはたこども園では、園児たちが屋上からシャボン玉での応援が、道の駅「オライはすぬま」では、作業に加え来場者にチラシ配りも行いました。山武福祉作業所では、終了後にみんなでお弁当を食べながらおしゃべりに花が咲き、松尾中学校では、地域班ごとに分担して作業を行いました。六月は梅雨の時期で天気が心配でしたが、予定どおり作業できました。

二〇一七
ボランティア活動
事務局 宮負



蓮沼地区 5月17日
オライはすぬま



松尾地区 5月30日
松尾中学校



山武地区 5月25日
山武福祉センター
山武福祉作業所
睦岡学童クラブ

「きらきらシルバークフェア開催」

開催日

- 10月24日(火) 午後1時～午後4時
- 25日(水) 午前9時～午後4時
- 26日(木) 午前9時～午後4時
- 27日(金) 午前9時～午後0時

開催場所

松尾ふれあい館 多目的ホール 山武市松尾町松尾47-3

開催内容

会員作品展示会、事業紹介、囲碁将棋コーナー、独自事業「すみれサークル」交流サロン、26日(木)午後2時よりマジックショー開催。

※来場者にはすみれサークル手作りの「タオルわんちゃん」差し上げます。お友達お誘い合わせのうえお越し下さい。お待ちしております。



編集後記

「シルバーさんむ」第十七号が会員の皆さんに届く九月は、まだ暑い日が続き熱中症が心配です。そして、台風が上陸する数も増えてきます。六月と七月は大雨で九州や西日本で大変な被害がありました。他人事じゃないですよね。皆さんは災害対策は十分ですか？そういう私はB29に立ち向かう竹槍程度で反省していません。

さて、今回の「シルバーさんむ」は楽しんで読んで頂けましたか。

入会年数の浅い方や外部の方が広報誌を見てシルバー人材センターの会員は、いろいろな就業や活動に参加して、仕事や人生を楽しんでいるんだなあ。と共感してもらえれば、記事を書いた人や投稿してくれた人も書きがいがあるというものです。

次回も楽しい広報誌になるように広報編集委員会八名、頑張ります。

会員皆さんの投稿をお待ち致しております。

広報委員 片山嗣雄